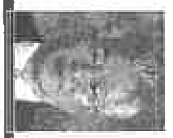
日本共産党桑名市議団　星野公平ニュース

号外

発行　日本共産党桑名市議員団　2015年　10月　18日
発行場所　桑名市中央町2－37　桑名市役所議員控室　☎24－1310
自宅　桑名市立花町1－14－7　☎22－2975



「ルールある経済社会」と「自主・自立の平和外交」

世界の動きがわかる「しんぶん赤旗」をお読みください
日刊紙　月3497円　日曜版　月823円
桑名市議団　星野公平のHPは http://hoshino.jcpweb.net/
ご意見をお寄せください　FAXは22－3028（星野宅）

暮らし支える街 ㊤

三重・桑名市寺町通り商店街

高齢者を優しく包む

「桑名市寺町通り商店街」は、ハマグリで知られる三重県桑名市（人口約14万２０００人）の中心市街地にあります。桑名別院本統寺の門前、約２００㍍の通りに、和菓子や衣料品、仏壇など37店が並びます。高齢者への心遣いを柱にした街づくりを進め、経済産業省の「がんばる商店街」にも選ばれています。（川田博子）

桑名市
愛知県
津市
三重県

「特売」「半額」などの札がはられた各店舗の陳列台の商品を手に取り、熱心に品定めをする人たち。陳列台に交じって並ぶ野菜や干物、すしなどの露天からは、「朝どりの野菜はいかが」「おいしいおすしだよ」と声が飛びます。この商店街は毎月の3と8のつく日に、朝市を開いてきました。「三八市」です。戦後60年余り、住民に親しまれ、その暮らしと食を支えてきました。

交流の場にも

「三八市」を訪れた独り暮らしの女性は、商店街が無料で貸し出すショッピングカートを押し、ゆったりと買い物を楽しみます。「若い頃から買い物はここ。足が弱って毎日は来れなくなったけど、野菜や服を売っているからね」と話します。自転車で10分の距離に住む女性（78）は、「『三八市』のときは必ず来ます。商店街が発行している『ふれあいカード』を活用しています。いろんなお店で割引が受けられますからね」。

親子連れの客も多く見かけます。小学生の兄弟と自転車で来た母親（44）は「野菜が安いので助かります」と話します。

伊藤さきさん（70）は、幼なじみの女性と2カ月ぶりに出会い、話に花を咲かせました。「買い物と一緒に、知り合いに会えるのが楽しみです」といいます。「三八市」は住民のコミュニケーションの場にもなっています。

買い物客でにぎわう桑名市寺町通り商店街＝9月23日

商圏を分析し

桑名市では、郊外の幹線道路沿線や中心市街地のＪＲ・近鉄桑名駅前などに、大規模小売店が出店しました。１９７３年から２００９年の間に、31店も増えました。一方、店舗数は、１９９４年時に比べ4割も減少しました。特に、中心市街地で激減し、店舗が1けたになってしまった商店街も少なくありません。

平日の買い物客が減るなか、「桑名市寺町通り商店街」は２００３年、有志が専門家、行政とともに商圏分析を実施しました。商圏は、自転車等で15分程度の狭い範囲で、若いころから商店街を利用し、商店街とともに年を重ねてきた高齢者がお客の中心であることが明らかになりました。それ以来、「高齢者にやさしい商店街」にと、取り組みを進めてきました。

05年からは、60歳以上の高齢者を対象にした「ふれあいカード」事業を開始。無料でカード会員になれ、会員は３４５４人に上っています。

「ふれあいカード」を利用すると、普段の買い物の際にも、振興組合加盟店で割引や景品などの特典を受けられます。買い物時の楽しみの一つになっています。通りには、座卓のように大きな椅子が置かれ、談笑する高齢者の姿も見られます。

（つづく）
（2回連載です）

□暮らしを支える街　三重・桑名　8